

## 4.1.10.1 正しく簡潔な構文を心がける(1)

該当JIS項目: 4.1.1、4.1.2

レベル:A

対象者:



### 説明

現在、北海道公式ホームページに掲載されている一部のページでは、インターネットブラウザの種類やバージョンなど利用者の環境によって、表示が崩れたり差異が発生している場合があります。

こうしたページは、情報を取得するために余分な時間がかかったり、利用者に誤った情報を伝えてしまうことがあります。

そのような状況を回避するために、正しく簡潔な構文を心がける必要があります。

(関連項目として、「[4.11.2 複雑なレイアウトや装飾などは、スタイルシートを用いて表現する](#)」も参照のこと)

### 対応方法

●CMS操作説明書に従いブロックエディタで作成する。

※ブロックエディタを利用し作成することで、ソースコード編集の必要はない。

### 参考

#### ○ 良い例

ソースコード(正しい記述方法)

```

<html>
<head>.....</head>
<body>

<p>
<a href="△△△">リンクテキスト</a>
</p>

<font color="●●●">テキスト</font>
テキスト
テキストテキスト

</body>
</html>
    
```

ブロック要素<p>内に  
インライン要素<a>が  
記述されている

閉じタグが記述されて  
いる

表示される画面

リンクテキスト

テキスト  
テキスト  
テキストテキスト

○ ページが問題なく表示される

#### × 悪い例

ソースコード(誤った記述方法)

```

<html>
<head>.....</head>
<body>

<a href="△△△">
<p>リンクテキスト</p>
</a>

<font color="●●●">テキスト
テキスト
テキストテキスト

</body>
</html>
    
```

インライン要素<a>内  
にブロック要素<p>が  
記述されている

閉じタグが記述されて  
いない

表示される画面

テキスト  
テキスト  
テキストテキスト

× 正しくページを表示できない

## 4.1.10.2 正しく簡潔な構文を心がける(2) ～文章のコピー＆ペーストの禁止～

### 説明

- Wordや一太郎で作成した文書のコピー＆ペーストでCMS標準編集画面に登録すると、余分な情報も引き継いでしまい編集操作が困難になるため、このような操作は禁止とします。
- ※Word等からコピー＆ペーストのできる「自由入力」ブロックは、新規作成のページでは使用できません。
- また、文書のコピー＆ペーストでページを作成すると、レイアウトの統一性がなくなる可能性があることも、禁止の理由となります。

### 対応方法

- 「自由入力」ブロックの場合は、テキストファイルに一度コピーするなどして、テキスト以外の情報をそぎ落としてからコピー＆ペーストを行う。

### CMS機能

- 「自由入力」ブロック以外の場合、コピー＆ペーストしてもデザイン等は引き継がれない。
- コピー＆ペーストした際に不要タグの削除。

### ✗ Wordや一太郎で作成した文書をコピー＆ペーストした場合

Word・一太郎など  
・文字情報  
・デザイン

コピー＆ペースト

CMS(編集画面)  
・文字情報  
・デザイン  
・大量の不要なタグ

ソースコード 約30,000文字

文字数多

構文異常

✗ 見た目は変わらないが、音声読み上げソフトでは、大量の不要なタグ情報も読み上げてしまうため、ページ内容が理解しにくくなる。また、多くの場合構文が異常になり、表示の崩れなどが発生する場合がある。

```

<div style="border-left:solid #2b579a 6.0pt; padding:0mm 0mm 0mm 0mm; margin-left:10px">
<p class="MsoTitle" style="border:none; padding:0mm"><span style="background:#2b579a"><span style="font-size:48pt"><span style="background:#2b579a"><span style="font-family:"Meiryo UI"";><span style="color:white"><span style="letter-spacing:-0.5pt"><span style="position:absolute; margin-left:532px; margin-top:191px; width:67px"><span style="z-index:251666432"><span style="left:0px"><span style="height:65px"></span></span></span></span>Word へようこそ</span></span></span></span></p>
</div>

<div style="border-bottom:solid #2b579a 6.0pt; border-top:none; border-left:solid #2b579a 6.0pt; border-right:none; padding:0mm 0mm 1.0pt 0mm; margin-left:10px">
<p class="MsoSubtitle" style="border:none; padding:0mm; margin-bottom:6px"><span style="background:#2b579a"><span style="font-size:18pt"><span style="background:#2b579a"><span style="line-height:107%"><span style="font-family:"Meiryo UI"";><span style="color:white"><span style="letter-spacing:0.75pt"><a name="_Hlk487785372"></a>編集、共有、印刷が行える操作説明書</span></span></span></span></span></span></span></p>
</div>

```

## 4.1.11 ヘッダーなどの共通で使用する部品は統一する

該当JIS項目： 3.2.3

レベル：AA

対象者：



### 説明

各ページに必ず存在する要素として、ヘッダーやフッター(図1参照)などがあります。

各ページで統一された要素を使用することで、主要なページへのリンクは常に同じ場所に表示されることとなるため、使いやすさが向上します。



図1：ヘッダー(赤枠部分上)・フッター(赤枠部分下)

### CMS機能

- 全ページ統一の共通ヘッダー、フッターを設定済みで変更不可。

### 補足

ページ本文に設置した「大見出し」で自動生成されるページ内目次、「連絡先」で設定した内容で自動生成される「このページに関するお問い合わせ」などのデザインも統一している。(例1参照)



例1：「ページ内目次」、「このページに関するお問い合わせ」の表示例

## 4.1.12 ナビゲーションを読み飛ばせるようにする

該当JIS項目： 2.4.1

レベル：A

対象者：



### 説明

ナビゲーションとは、利用者が目的の情報を探せるようにするための仕組みのことであり、例えばヘッダーメニュー（「カテゴリから探す」や「組織から探す」等のリンクが存在）などが該当します。

視覚が健常な利用者の場合、視線をヘッダーの下へ移動すれば、直ぐにページ本文の情報を取得できます。

しかし、音声読み上げソフト利用者の場合、ページを開く度に同じナビゲーションが読み上げられることとなり、ページ本文へ到達するまで時間を要する煩わしさが発生します。

そのため、音声読み上げソフトの利用者がナビゲーションを読み飛ばして読み上げられる仕組みを提供する必要があります。

### CMS機能

- ヘッダー、フッターをナビゲーションとして設定済み。



ナビゲーションを読み飛ばすことにより、音声読み上げソフトの読み上げ時間が短くなる。

### ○ 良い例

🔊 「●●●のページへようこそ  
.....  
.....  
.....」

- すぐに本文の内容を読み上げることができる

### × 悪い例

🔊 北海道トップ  
カテゴリから探す  
組織から探す  
防災情報  
検索  
...

🔊 「●●●のページへようこそ  
.....」

- × ナビゲーションの内容をすべて読み上げてから本文の内容を読み上げるため、余分な時間がかかる